

68

68

こたえが全部あっていた。こう格だ

69

69

おんがくのじかんはたのしく歌いましょう。

70

70

おおゆきになって除せつがたい変だ。

71

71

かおを洗うことを洗がんという。

72

72

ゆうしよくは、みんなでたべるとたのしいね。

72	71	70	69	68
食	顔	雪	楽	合
夕食は、みんなで食 <small>く</small> べると楽 <small>たの</small> しいね。	顔 <small>あ</small> を洗 <small>あら</small> うことを洗 <small>せん</small> 顔 <small>けん</small> という。	大雪 <small>お</small> になつて除 <small>じ</small> 雪 <small>ゆ</small> が大変 <small>へん</small> だ。	音楽 <small>おんがく</small> の時間 <small>じかん</small> は楽 <small>たの</small> しく歌 <small>う</small> いましょう。	答 <small>こ</small> えが全 <small>ぜん</small> 部 <small>ぶ</small> 合 <small>あ</small> つていた。合 <small>がく</small> 格 <small>かく</small> だ。

たしかめ

16

なまえ
名前

73

73

いちにちにあるくほすうはいちまんぼ。

74

74

助そうからいつきに全りよくではしり切った。

75

75

信号のあかは「とまれ」だ。

76

76

おとうとはとてもげんきだ。

77

77

さん姉まい、いち番したのいもうとは甘えんぼ。

77	76	75	74	73
妹	弟	止	走	歩
三姉妹、一番下の妹は甘えんぼ。 <small>あま</small>	弟はとても元気だ。	信号の赤は「止まれ」だ。 <small>しんごう</small>	助走から一気に全力で走り切った。 <small>じよ ぜん</small>	一日に歩く歩数は一万歩。

8 2

82

すべりだい、うえからしたまで
いっ直せん。
ちよく

8 1

81

がいこくごをしょうがつこうから
習う。
なら

8 0

80

こどもは
遊びのてんさいだ。
あそ

7 9

79

のこぎりできをきりふたつに
せつ断する。
だん

7 8

78

この市のじんこうは約
ごまんにん。
やく

たしかめ

17

なまえ
名前

82	81	80	79	78
台	語	才	切	万
すべり台、上から下まで一直線。	外国語を小学校から習う。	子どもは遊びの天才だ。	のこぎりで木を切り二つに切断する。	この市の人口は約五万人。

83

83

夏なつやすみのおもいでをえにつきにかく。

84

84

あおぞらがひろがるこうだいなそら。

85

85

がつこうまでの道みちをえちずにする。

86

86

く夫いふして、紙かみこうさくをやってみた。

87

87

にほんのいち番ばんきたはほっ海かい道どう。

87	86	85	84	83
北	工	図	広	絵
日本 の 一番 北 は 北海道 。	工 夫 ^{ふう} して、紙 工 作 をや っ て み た 。	学 校 ま で の 道 を 絵 地 図 に す る 。	青 空 が 広 が る 広 大 な 空 。	夏 休 み の 思 い 出 を 絵 日 記 に 書 く 。

9 2

92

きいろい せんの うち側で 電しやを 待つ。

9 1

91

さん角けいは、とがった かたち。

9 0

90

いち番 うしろは、最ごです。

8 9

89

強いんに ひっ張ったら、きれた。

8 8

88

ちかづいて ワッとおどかす きん所のこ。

たしかめ

19

なまえ
名前

92	91	90	89	88
内	形	後	引	近
黄色い線の内側で電車を待つ。	三角形は、とがった形。	一番後ろは、最後です。	強引に引つ張ったら、切れた。	近づいてワッとおどかす近所の子。

93

93

深い^{ふか}うみの底^{そこ}にいる深^{しん}かい魚^{ぎよ}。

94

94

しんがっ期^き、あたらしいクラスになった。

95

95

相^{あい}てはつよいぞ、きよう敵^{てき}だ。

96

96

そらでは雷^{らい}めい、鳥^{とり}もなきやむ嵐^{あらし}のよる。

97

97

積^{せき}乱^{らん}うんをにゆう道^{どう}ぐもと呼^よんでいる。

97	96	95	94	93
雲	鳴	強	新	海
積乱雲 <small>せきらん</small> を入道雲 <small>よ</small> と呼んでいる。	空 <small>くう</small> では雷鳴 <small>らいめい</small> 、鳥も鳴き止む嵐 <small>あらし</small> の夜。	相手 <small>あい</small> は強いぞ、強敵 <small>てき</small> だ。	新学期 <small>き</small> 、新しいクラスになった。	深い海 <small>ふかい</small> の底 <small>そこ</small> にいる深海魚 <small>しんかいぎょ</small> 。

102

102

あさがきた。きょうもちょうしよくおいしいな。

101

101

熊は、ふゆのあいだはとう眠している。

100

100

おみせが並ぶ商てん街。

99

99

ふうせんをふねのうえから飛ばした。

98

98

快せいとは、雲ひとつ無くはれるひ。

たしかめ

21

なまえ
名前

102	101	100	99	98
朝	冬	店	船	晴
朝が来た。今日も朝食おいしいな。	熊は、冬の間は冬眠している。	お店が並ぶ商店街。	風船を船の上から飛ばした。	快晴とは、雲一つ無く晴れる日。

103

103

いっしゅうかんは
なのかです。

104

104

いちばで
や菜を
売っている。

105

105

喫させて
おちやでも
飲もう。

106

106

はるの
初めを
そうしゅん
という。

107

107

しかくけい、かどを
きったら
はちかくけい。

107	106	105	104	103
角	春	茶	市	週
四角形、角を切ったら八角形。	春の初め <small>はじ</small> を早春という。	喫茶店 <small>きつ</small> でお茶でも飲 <small>の</small> もう。	市場で野菜 <small>さい</small> を売っている。	一週間は七日です。

112

にほんよりにしにあるせい洋のくに。

112

111

なんごくは、みなみのほうのくに。

111

110

とう京は、おお阪よりひがしのほうにある。

110

109

さわやかなあきばれ、しゅうぶんのひ。

109

108

なつの初めを初かという。

108

たしかめ

23

なまえ
名前

112	111	110	109	108
西	南	東	秋	夏
日本より西にある西洋の国。	南国は、南の方の国。	東京は、大阪より東の方にある。	さわやかな秋晴れ、秋分の日。	夏の初めを初夏という。

1 1 3

113

おとうさんは、ちちおやともいう。

1 1 4

114

ははおやを「おかあさん」と呼んでいる。

1 1 5

115

僕ぼくのあにはごねんせいだ。

1 1 6

116

いもうとはあねを「ねえちゃん」と呼ぶ。

1 1 7

117

おひるだな。きょうのちゅうしょく、カレーだよ。

117	116	115	114	113
昼	姉	兄	母	父
お昼だ。今日の昼食、カレーだよ。	妹は姉を「姉ちゃん」と呼ぶ。	僕の兄は五年生だ。	母親を「お母さん」と呼んでいる。	お父さんは、父親ともいう。

122

1 2 2

ほそい みちから おおきな どう路^ろに てる。

121

1 2 1

うりかいする ことを はいはい という。

120

1 2 0

しんぶんも ほんも うっている 駅^{えき}の はいてん。

119

1 1 9

きょうしつで 静^{しず}かに じ習^{しゅう}をした。

118

1 1 8

が用^{よう}しは、えかきに 使^{つか}う しろいかみ。

たしかめ

25

なまえ
名前

122	121	120	119	118
道	買	売	室	紙
細い道から大きな道路 <small>ろ</small> に出る。	売り買いすることを売買という。	新聞も本も売っている駅 <small>えき</small> の売店。	教室で静 <small>しず</small> かに自習 <small>しゅう</small> をした。	画用紙は、絵かき <small>つか</small> に使う白い紙。

1 2 3

123

ぜひ たべて。おいしい おこめの 近江まい。

1 2 4

124

うたのか詞を覚えて うたう。

1 2 5

125

たいふうが ちかづき あまどを 閉める。

1 2 6

126

らいしゅうの すいようびは おんがくかいです。

1 2 7

127

あすの ことは 是れでしよう。

1 2 7	1 2 6	1 2 5	1 2 4	1 2 3
午	曜	戸	歌	米
明日の午後は晴れるでしょう。	来週の水曜日は音楽会です。	台風が近づき雨戸を閉める。	歌の歌詞を覚えて歌う。	ぜひ食べて。おいしいお米の近江米。

132

1 3 2

うまにとう、なら並んでばしやをひいている。

131

1 3 1

きのうえでことりが さえずる。

130

1 3 0

みずを ためる いけを 貯ちよすいち という。

129

1 2 9

いわやまの がんせきが みちを ふさぐ。

128

1 2 8

やまの うえから たに底ぞこを みる。

たしかめ

27

なまえ
名前

1 3 2	1 3 1	1 3 0	1 2 9	1 2 8
馬	取	池	岩	谷
馬二頭、並 <small>なら</small> んで馬車を引いている。	木の上で小鳥がさえずる。	水をためる池を貯 <small>ちよ</small> 水池という。	岩山の岩石が道 <small>みち</small> をふさぐ。	山の上から谷底 <small>ぞこ</small> を見る。

1 3 3

133

ひやくにんいっしゆをやりすぎてくびが痛い。

1 3 4

134

きょうのテレビばんぐみを調べる。

1 3 5

135

すいそうで泳ぐさかなはきんぎよです。

1 3 6

136

あたらしいでんちを店で買った。

1 3 7

137

ほそいけれどつよいたこいど。

1 3 7	1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3
細	電	魚	番	首
細いけれど強いたこ糸。	新しい電池を店で買った。	水そうで泳ぐ魚は金魚です。	今日のテレビ番組を調べる。	百人一首をやりすぎて首が痛い。

142

やが^ま的^とにあ^ある。

1 4 2

141

バイオリンのゆ^ゆみは う^うまのけ^けでつく^{つく}る。

1 4 1

140

に^にほんのか^かたな^なを使^{つか}うに^にとう流^{りゅう}。

1 4 0

139

ふ^ふねのき^て笛^きがな^なる。

1 3 9

138

み^みぎ側^{がわ}を^をと^とお^おつて^てか^かよう^{よう}つ^つう^うが^がく^く路^ろ。

1 3 8

たしかめ

29

なまえ
名前

142	141	140	139	138
矢	弓	刀	汽	通
矢が ^{まと} 的に ^ま 当 ^た たる。	バイオリンの弓は馬の毛で作る。	二本の刀 ^{つか} を使う二刀流 ^{りゅう} 。	船の汽笛 ^{てき} が鳴る。	右側 ^{がわ} を通 ^と って通 ^と う通学路 ^ろ 。

147

1 4 7

よわい動物をたべる「じゃくにくきようしよく」。

146

1 4 6

くろくないけれどこく板ばんという。

145

1 4 5

きんいろに輝かがやくおてら、きん閣かくじ。

144

1 4 4

やまからさとへおりてきたサル。

143

1 4 3

ちよくせんがゆがんでしまい、ひきなおす。

たしかめ

30

なまえ
名前

1 4 7	1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3
弱	黒	寺	里	直
弱い動物を食べる「弱肉強食」。	黒くないけれど黒板という。	金色に輝くお寺、金閣寺。	山から里へ下りてきたサル。	直線がゆがんでしまい、引き直す。

152

1 5 2

りかしつは、さんねんせいから使^{つか}います。

151

1 5 1

こうえんでとも達^{たち}と遊^{あそ}んだ。

150

1 5 0

このケーキ、私^{わたし}とあねではんぶんこ。

149

1 4 9

ふるいじ代^{だい}をこ代^{だい}という。

148

1 4 8

とおくまでえんそくにいきました。

たしかめ

31

なまえ
名前

152	151	150	149	148
理	公	半	古	遠
理科室は、三年生から使います。	公園で友達と遊んだ。	このケーキ、私と姉で半分こ。	古い時代を古代という。	遠くまで遠足に行きました。

1 5 3

153

がようしをもちいてつくるうまのおやこ。

1 5 4

154

まいとし、はるにはツバメがくる。（＊「まいねん」とも読むよ）

1 5 5

155

いえにかえることをき宅たくという。

1 5 6

156

いちわのとりが、はねをひろげて飛とんでいく。

1 5 7

157

きょう都とにはたくさんのてらがある。

1 5 7	1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3
京	羽	帰	毎	用
京 <small>と</small> 都にはたくさんの寺がある。	一羽の鳥が、羽を広げて飛 <small>と</small> んでいく。	家に帰ることを帰宅 <small>たく</small> という。	毎年、春にはツバメが来る。	画用紙を用いて作る馬の親子。

たしかめ

33

なまえ
名前

158

158

むぎちやを飲んですこしやすもう。

159

159

みちとみち、まじわるところがこう差さてん。

160

160

ほしぞらだ。とせいやきんせいがよくみえる。

160	159	158
星	交	麦
<p>星空だ。土星や金星がよく見える。</p>	<p>道と道、交わるところが交差点^さ。</p>	<p>麦茶を飲^のんで少し休もう。</p>